

児童生徒のボランティア参加を ボランティア活動カード

青少年のボランティア参加を目的に、希望する児童生徒の皆様へ、各地区の公民館、小・中・高等学校、市役所社会教育課、社会福祉協議会でボランティア活動カードを配布しています。活動の内容確認は、本人のメモなどの自己申告でも可能です。



▲小学生用



▲中学生・高校生用

1 カードをもらう



2 ボランティアをする



3 スタンプを押してもら



スタンプを10個貯めると
認定証が貰えるよ！



kind heart

人をおもう やさしい心

ボランティアは、団体に所属して行う活動だけではなく、「人のことをおもう、何か行動する」それだけで、立派なボランティアだと思います。ここでは、やさしい心から生まれたボランティアを紹介します。市民の皆様により身近にボランティアを感じていただければ幸いです。

子どもたちは垂水市の宝です。 川畑千代子さん

お孫さんの子育てのお手伝いをきっかけに、20年以上前から、子育てサロン『たんぼぼくらぶ』で、絵本の読み聞かせや子どもの見守り活動をされている川畑さん、おもいを伺うと、「子育ては、本当に大変なことが多いです。特に、垂水市出身じゃない方は、頼れる人も少なく不安な気持ちを抱えてらっしゃると思います。そんな方々に、サロンをきっかけに、お互いに頼り合える『ママ友』を作ってもらいたいという願いから、お手伝いしています」と話してくださいました。

「子どもたちは、垂水市の宝です」と、時折涙ぐみながら話してくれた川畑さんの人をおもうやさしい心に、サロンを訪れる皆さんも、癒されていることと思います。



通る人に気持ちよくなってもらえれば。 瀬戸口淑子さん

30年以上前から、垂水高校近くのご自宅の前の通りを朝早く、毎日ほうきで清掃されている瀬戸口さん。落ち葉が多い時には、1回の掃除でゴミ袋が一杯になることもあるそうです。きっかけを伺うと、「子ども達の通学路に落ち葉があると危ないし、それから、通る人に気持ちよくなってもらえればと思ってやっています。墓参りに行く人に声をかけてもらえたり、通学する子どもたちから『おはようございます』と声をかけられるのが嬉しいです」と話してくださいました。

取材中、何度も「庭の掃除の延長です。私は何も大したことはしてないですよ」と謙遜して話す素敵な笑顔に、心があたたかくなりました。



垂水おもてなし少女・少年隊



(左) 猪俣和希さん
(右) 猪俣亜実さん

【目的・活動内容】

おもてなしの心・自ら進んで物事に取り組む姿勢・おもいやりの心を身につけてもらう事を目的に、市主催イベントの受付等を行っています。

ボランティアは、する人も、される人も、気持ちよくなります。また、活動を通じて、垂水のことを知ることができ、学びが多いのも魅力です。



▲R元年募金活動の様子



垂水市には、多くのボランティア団体があります。ここでは、社会福祉協議会に登録されているボランティア団体等の中から、各団体の活動目的や内容と共に、ボランティアに対する思いを紹介します。

たるみず折鶴



代表 美坂 康子さん

【目的・活動内容】

お世話になった市民の皆さんへの恩返しを目的に、荒崎パークの清掃や花壇の花植え、トイレ内に花の一輪挿し設置等を行っています。

ボランティアをきっかけに、仲間と集まれて、色んな人と交流することがとても楽しいです。皆さんからの「ありがとう」の言葉がご褒美です。



▲花植えの様子

垂水高等学校ボランティア同好会



(左) 淵上千夏さん
(右) 前田葵さん

【目的・活動内容】

ボランティアを通して、人の役に立ちたいという気持ちを育むことを目的に、イベントや介護施設のお手伝い・地域清掃等を行っています。

お礼の言葉をいただくと、お手伝いしている私達の方が、元気をもらいます。ボランティアを通じ、感謝の気持ちの大切さを学んでいます。



▲R元年カンパチ祭り受付の様子

花みずき



代表 後迫 順子さん

【目的・活動内容】

中俣地区の一人暮らしの高齢者に、食を通じた交流で喜んでもらうために、ご自宅へカレーを届ける『愛のカレー宅配便』等を行っています。

地域に貢献したいという思いのもと、人に喜んでもらうことに、喜びを感じています。若い方にも、ボランティアに興味を持ってほしいです。



▲花みずきメンバーの皆さん

災害ボランティアセンター

平成28年9月、台風16号および前線の影響により、九州地方や四国地方の広い範囲が、記録的な大雨に見舞われ、垂水市内でも甚大な被害が発生しました。

被害を受け、垂水市社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを開設し、県内外より延べ1,327名の方々が、復旧作業等を行っていただきました。



▲家屋の復旧作業の様子



▲森の駅川沿いの復旧作業の様子